



10月の ひかりのこども

日中はまだまだ暑いものの、朝夕は、漸く涼しくなりましたね！梨にブドウ、秋刀魚も美味しい季節になりました！幼稚園の園舎裏のブドウは、今年は暑すぎて不作(>_<)

でも…ゆり組のお部屋には子ども達が作った美味しそうなおブドウが沢山なっていますよ！さて、子どもたちは、と言うと…先週ちゅうりっぷ組さんが「一緒に運動会しよう！」とお誘いに来てくれて、ちゅうりっぷ組さんが考えたダンスを教えてくださいましたので、ウキウキの小さい組(^ ^)v今週に入り、幼稚園のみんなで体操したり、かけっこしたり、クラスカラーのポンポンを持ってダンスを踊ったり…と、幼稚園は、段々運動会モードに！

子ども企画の聖公会八王子幼稚園の運動会は、「これをやります！」と先生が決めた事を教えるのではなく、ちゅうりっぷ組さんが「幼稚園のみんなで運動会をやりよう！」から始まっていきます。たんぽぽ組さんは、最近クラスでプールの“コンサートごっこ”からの流れで、楽しい競技を考え中！ゆり組さんは、お家から持ってきたかわいいマントを付けて、“ヒューン”と園庭を飛んでいます…、一体運動会では何に変身するのかな～？そしてそして運動会の企画者、ちゅうりっぷ組さんは、“秘密のこト？”をホールでやっていたり…そして、すみれ組さんは、そんなお姉さん、お兄さんたちを時に？で、時に憧れの思いで、時に一緒に…小さい心を躍らせているようです。

大人の考えた型に嵌めるのではなく、先生も子ども達もアイデアを出し合ったり、子ども達の姿を見ながら、少しずつ形になっていく聖公会の運動会。苦手なことがあっても「みんなですなら出来るもん！」好きなことだから「みんなとするととっても楽しい！」とその子らしさを発揮し楽しみ、のめり込むから得られる達成感や自信。運動会という行事としてだけ捉えるのではなく、その過程の中で多くのことが育っていることを想像し、運動会当日の子ども達の生き生きとした姿をお家の皆さんも楽しんでくださいね！



10月の予定

4日	水	運動会予行 お弁当
5日	木	午前保育 (午後ひつじなし)
6日	金	運動会 (雨天休園)
7日	土	運動会予備日
9日	月	運動会予備日
11日	水	10月生まれのお誕生会 pm 園庭開放
12日	木	ひよこクラブ
13日	金	体操教室
15日	日	2024年度入園願書配布
17日	火	ちゅうりっぷ組 遠足
18日	水	おかっぱ給食 よちよちクラブ
19日	木	ちゅうりっぷ組遠足 予備日
20日	金	ゆり 親子遠足
24日	火	おいもほり (ち・た)
25日	水	おかっぱ給食 (おいもほり予備日)
26日	木	ひよこクラブ
27日	金	ゆり組 親子遠足予備日
31日	月	ハロウィン🎃
11/1	水	休園 2024年度 入園願書受付

*10/4 (水) 運動会予行練習の日は
おかっぱ給食はありません。
お家からのお弁当、又は注文弁当です。



10月生まれのお友だち おたんじょうび おめでとう！

食欲の秋にお誕生日を迎えるのは、元気な男の子4人と可愛い女の子1人です。



おしらせ

- *2024年度 入園願書配布
15日(日) PM2:00 ~ 4:00
16日以降は、幼稚園開園時間に。
- * 17日(火) ち・高尾山遠足
往路は山麓から稲荷山コースを登ります。
天狗さんに会えるかな？
- * 31日(火) ハロウィン🎃
好きなコスチュームで！登園してね！
“trick or treat”の合言葉で幼稚園の中に隠れているおばけ？からお菓子をもらいます！
降園時に仮装のお披露目をします。
pm1:45に園庭にお集まりください。
- * 集金…絵本代、ひつじ・おかっぱ給食
希望給食を集金袋にて集金します。
- * 24日(火)「おいもほり」(たんぽぽ・ちゅうりっぷ組)を予定しています。詳細は後日お知らせします。(予備日 25日)

ゆり組親子遠足
昭和記念公園へ親子で遠足にいきます。
詳細はクラスだよりで。

お願い
保護者以外の方が園児をお迎えに来られる場合は、幼稚園にお知らせください。
😊 宜しくお願いいたします！！



《2学期の主題》つながり 10月：力いっぱい伸び伸びと *10月の聖書の言葉 「隣人を自分のように愛しなさい」

愛の賛歌

前回、キリスト教と聖書が語っている愛には、エロス(eros；恋愛)・フィリア(philia；友愛)・アガペー(agape 神愛)があり、この三つの愛は、それぞれ異なる特徴を持っているけれども完全に分離されているのではなく、まるで三位一体のように三つの形をしているけれども本質は一つとして自分の中で統合されていくものだという事を伝えました。そのほか、西欧文化にはもう一つの愛を表す言葉がありますが、ストルゲー(storge)というものです。家族愛を指して使われているものとして、血縁関係にある親子や兄弟の間で生じる愛であり、本能的で自然な感情のひとつです。

さて、教会の結婚式ではよく用いられる「愛の賛歌」と呼ばれるみ言葉があります。これは家族間の愛、ことに夫婦の愛がどうあることが望ましいのかについて伝えています。「愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない。」(Iコリントの手紙 13：4-8)。これは神の愛であるアガペーを表しているものであるがゆえに、夫婦だとしても人間同士では不可能なことだと思われるかもしれませんが、教会がこれを結婚式の際にあえて用いることは、それこそが夫婦や家族が求めていく愛の模範であるからです。私たちは完全で完璧であるからではなく、至らない部分が多いからこそ愛し合い、愛によって育まれていくのです。

成 成鍾チャブレン